

病気を治すだけでなく、患者さんの心も癒す

くまちゃん通信

URL <http://www.ookuma.or.jp/ookuma/index.html>



2021.2

Vol. 22



医療法人
朗源会

大隈病院

嚥下機能訓練について

食事にて、「咳が増えた」・「喉に残った感じがする」ということ、ありませんか？
それは、嚥下障害の始まりかも…

リハビリテーション課 言語聴覚士 志水 哲史

皆さんは「嚥下(えんげ)」と聞いて、どういった事を想像しますか？

毎日、朝・昼・夕と食事をとっていますが、その時の「力」と考えてください。これらが低下すると「嚥下障害」となります。ポイントは、「噛む」と「飲み込む」の2点です。歳を取ると若い時の様には行かず、嚥下障害は、「噛みきれない」「咳が出る」といった形で出てきます。脳卒中等の病気でも同じ様になります。

原因で多いのが、「食べるスピード」です。何十年も続けてきた食べ方は簡単に変えることができません。たくさんのご飯を口一杯に頬張って食べるのは美味しいものです。でも、自分の能力以上の量を一気に食べると、閉塞(喉に詰める)や誤嚥(気管に侵入)の原因となります。我々の仕事は、これらに対して評価をおこないリハビリを通じて安全にしんどくない食べ方を一緒に考えてゆく事です。嚥下造影検査では、バリウムを混ぜた食事を食べていただき飲み込む時の動きを確認します。その後、食べ方の工夫(トロミ、一口量、合間の飲茶等)や、呼吸、発声練習などで強い咳を出す訓練を行います。食事で、「咳が増えた」「喉に残った感じがする」「時間がかかる」など気付いた点があれば、気軽に主治医にご相談してみてください。

※写真撮影のため、一時的にマスクを外しております。

患者さんの思いに寄り添える看護師になりたい!

私たち2人は、昨年の4月から看護師1年目として4階病棟へ入職しました。初めの頃は何もかもが初めてのことで分からず、戸惑うことばかりでした。しかし、先輩方のご指導のもと、また、患者さんを看護・介護させていただくうちに少しずつ自信を持って自分で出来るが増えていきました。患者さんから「ありがとう!」と言われたり、患者さんの思いに共感できると、嬉しさややりがいを感じています。まだまだ未熟な私たちですが、患者さんの思いに寄り添った看護が出来るように、これからも多くのことを学びながら、貴重な経験を積んでいきたいと思っております。

【病院仲間からのひと言】フレッシュな笑顔いっぱい日々頑張っています!!



職員から職員へつなぐ、地域へのメッセージ

レターメッセージ



4階病棟 看護師
下平 由稀・竹内 優奈

次号予告

次号は、「共栄セキュリティーサービス株式会社 柴田 誠也」からのメッセージです。

医局(診療部)

って、どんなところ？



診療部 医局長 土山 布佐子

※写真撮影のため、一時的にマスクを外しております。

医局って？ 皆さんにとっては、聞きなれない言葉かもしれませんね。医局とは、医師・歯科医師の執務室を意味し、病院での医師達の組織部署である診療部を指します。

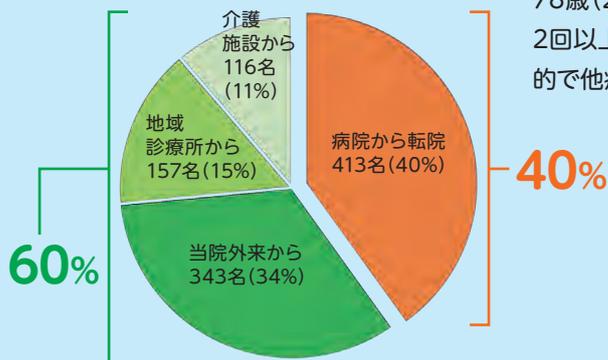
当院医局には、大隈義彦会長や大隈健英理事長をはじめとし、8名の常勤職員と17名の非常勤医師にて構成され、外来診療(一般と救急)、入院診療、在宅診療、ドック検診、企業検診に対応しています。(下段の『くまちゃんニュース』を参照)

主な診療科は、一般内科、一般外科、整形外科を中心に、循環器外来・消化器外来・呼吸器外来・糖尿病外来、泌尿器外来、形成外科の専門外来を設置し、人生100年時代に伴い増加する高齢者疾患への医療を提供しています。今、超高齢社会という未曾有の局面を迎えています。大隈病院は、これからも地域の皆さんに、安心と信頼される地域医療を提供していきます。



くまちゃんニュース 「時々入院、ほぼお家」の生活を最期まで支えます！

【図】患者さんの入院経路(仕方)別



2019年度1年間に当院に入院された患者さんの入院・退院状況を報告します。

新入院患者総数は1029名(男性467名、女性562名)で、年代別にみると、平均年齢78歳(20歳~104歳)で、70歳以上の高齢者が入院患者さんの80%を占めていました。2回以上の入退院を繰り返す方も20%を占めています。入院経路(仕方)は、治療の継続目的で他病院から転院された方は413名(40%)に対して、体調不良や悪化にて、当院外来からの入院、または、地域の診療所や介護施設からの紹介で入院された患者さんは、616名(60%)でした【図を参照】。入院の半数が、当日の緊急入院(即入院)であることも大きな特徴です。また、退院患者さん1013名の退院経路を転帰別にみると、約半数の563名(56%)が自宅への軽快退院で、一方、継続治療を必要とし転院された患者さんは146名(14%)、介護施設への入居158名(16%)、死亡退院(看取り)146名(14%)でした。独り暮らしや高齢者世帯が増加する今、「時々入院、ほぼお家」の生活を最期まで支えることが、当院の役目と考えています。

いよいよ、わが国でも新型コロナウイルスワクチンの予防接種が始まります。

薬剤課 薬剤師 村田 佳子

一般的に、ワクチン接種により、感染予防・発症予防・重症化予防のメリットがある一方、副反応等のリスクもあります。ただし、これはどのワクチンでも起こりうることで、不安を感じている方も少なくないと思います。接種に当たっては、費用は国の負担となり、希望される方が対象です。年齢、基礎疾患、職業などを踏まえて、新型コロナウイルス感染症によるリスクを総合的に判断する必要があります。どちらにしても、リスクはあるということになりますが、うーん…



医療法人 朗源会 大隈病院

〒660-0814 兵庫県尼崎市杭瀬本町2-17-13
TEL:06-6481-1667(代表) FAX:06-6481-1753
URL <http://www.ookuma.or.jp/ookuma/index.html>



朗源会グループ ■岩崎クリニック ■大隈病院附属 歯科クリニック ■在宅事業部 ■特別養護老人ホーム ほがらか苑

大隈病院

検索

基本方針

- 地域のみなさんに信頼される病院になります。
- 高度の医療機能を持つ かかりつけ病院になります。
- 病気を治すだけでなく、病める人の心を癒す病院になります。
- 職員が勉強し、朗らかでやりがいのある職場をつくれます。

「くまちゃん通信」2021年2月 第22号 発行 大隈病院
企画協力・デザイン・印刷 兵田印刷工業株式会社